



会報

WEEKLY REPORT

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22 R.I.会長

シェカール・メータ

第2500地区第6分区帯広北ロータリークラブ

会長/深井弘美

副会長/山本淳

幹事/川端正幸

[四つのテスト] 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第3036回 例会報告

2022.6.17

●例会日/金曜日 <12:30~13:30>
●例会場/ホテル日航ノースランド帯広
●事務局/帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F
TEL 0155-25-7347

■点 鐘

■ロータリーソング (我等の生業)

■会長挨拶

深井 弘美 会長



皆さんこんにちは

天候のすぐれなく寒い日が続きますが体調はいかがでしょう。

先週の挨拶で規定審議会での改定事項をお話しさせて頂きましたが、釧路ロータリークラブの小船井修一規定審議会代表議員世話人事務局の解説記事がロータリーの友6月号の特集に載っていますので皆さんもお読みください。

例会も来週の年度末最終例会を残すのみとなりました。

そこで、プレジデントメッセージという事でシェカール・メータ R I 会長のメッセージを紹介させて頂きます。

今年度はロータリーにとってなんという1年だったのでしょうか。「もっと成長し、もっと多くを成し遂げる」ことなど、皆さまはあらゆるチャレンジに応えました。今年度にロータリーは、長年見られなかったほどの成長を遂げました。

そして、UNICEF (国連児童基金)、英連邦、グローバルリーダーとともに最高レベルで重要な仕事に取り組むとともに、すべての重点分野でびとの人生を変えるような新しいプロジェクトを目にしました。こうした取り組みは、女兒のエンパワメント、環境の改善、識字と保健の促進における新たな機会を生み出しました。積極的に奉仕して下さった皆さま一人ひとりに、感謝を申し上げます。

また、私たちが平和への願いを胸に、思いやりをもって活動できるようサポートしてくれた素晴らしいロータリー職員にも感謝したいと思います。

個人的には、ラシと私にとって非常に豊かな1年でした。何千人ものロータリアンと会い、世界中で実施されている素晴らしい活動に感銘を受けました。また、各国の首脳、リーダー、官僚との会合といった最高レベルで、ロータリーがこの世界の平和を願い、平和をもたらしていることを示して協力を申し出、ロータリーの活動を紹介することができました。

私からの最後の言葉となりますが、「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」、皆さまのご活躍をお祈り申し上げます。

この後、プログラムで細川ARRFC(アシスタントロータリー地域財団コーディネーター)の卓話も有りますのでよろしく願い致します。

■会務報告

川端 正幸 幹事

帯広北RC夜間例会開催のご案内

日時: 令和4年6月24日 (金) 午後6時30分

場所: ホテル日航ノースランド帯広

●ロータリー親睦活動グループ (バイク日本支部)のご案内

日時 令和4年7月2日 (懇親会)、3日 (お昼出発)

場所 大樹町までのツーリング

興味のある方は是非ご参加をお願い致します。

■ニコニコボックスの発表

山本 淳 副会長

・本日の卓話、よろしく願い致します。

細川 吉博 会員

・結婚記念日のお祝いを頂き有難うございました。

柴田 隆視 会員、 松田 孝志 会員

■プログラム

中島 慎也 委員長

【会員卓話】

第一地区 ARRFC 細川吉博パストガバナー

みなさんこんにちは。今日はロータリーとはなんだろうか？

クラブ奉仕の中で、皆さんがいろいろ思う奉仕ってということがきっとあると思います。

ただそれ以前の問題として、多くの方がこのロータリーに入るわけですね。でまあそれは、例えば仕事の関係のつながりが入る人もいれば、まあJCから入った人もいます。まあ、なんとなく入った人もいるかもしれないと言う中で、やはり中にはこんなはずじゃなかったと言って辞める人と言うのがいます。

例えばロータリーを誘う時には、まあ友達作りとか、みんなで食事をしたりとか、みんなで楽しくと言うところが多分あると思うし、まあ正直言って自分もそういうところがあつたと思います。

じゃあ、それだけで本当にロータリーっていう活動が繋がっていくのだろうか？まあ、なんとなく集まって食事だけしているのであれば多分ほかの団体もなんぼでもいいあります。

例えば銀行さんの会もあれば商工会議所の何とか委員会の会議があればいっぱいあります。

ただ、こここのところで、じゃあなんでロータリーという私たちは括りの中で、こういう風に週一回集まってみんなでやってるのかと言うことを考えるのであれば、まず一つにはロータリーって何をやってるところなのか、どういう経緯でできてきたのかということと、私達はどういうロータリーで、どういうことを目指して行くというか、やらなくちゃいけないのかっていうことを、やはり今一度、皆さんにこれをこうしてくれというわけではないんですけども、一つの物の考え方として、こういうものもあるんじゃないかということをお話したいと思います。

ロータリーはずっと長い歴史がありまして。ええ一時期、中央大学の小森健介という教授がロータリーをいろいろ原理的な意味での解釈して活動しておりました。千草会という会がありまして、例えばこの2500地区で紋別港ロータ



リークラブのバスタガバナーとかもいらっしゃるので、まあクラブによっては積極的にそういう理論的なものやっ

てらっしゃる方も当然いらっしゃいます。今日はロータリーとは何か？と、いうことを、もう一回話したいと思います。スライドを使ってまあ、知ってる方もいらっしゃると思います。まずロータリーの誕生です。ロータリーの発生前夜ということ、まあ、資本主義がど

中略

後、夫人キリスト教禁止同盟というのが出てきております、この時にちょうどポールハリスは、一緒に本当に真の友人を求める、つまり中からやってきた寂しい人々を一緒にさせるクラブみたいなものがないだろうか？その時には必ず寛容。ということ、寛容が必須の理念、つまり弱肉強食でお互い

にで噛み付き合うような世代ではなく、お互いが勧誘の事実、理念を持っている。そして、一人、一人が自分の特定の宗教と代表となれるように。つまり、同業者ではなくて、特定の企業の代表となるような集まりを作りたいと、そこ

のところに初めて打ち解けた友情が生まれるはずではないだろうかというふうに考えました。そういつた中で、1905年2月23日、4人が集まった時、最初の綱領を自らから決めたことあります。第一条として、会員の研究業務上の利益への振興、つまり会員相互扶助をやるとういうこととあります。で、第二には性質として社交クラブに伴う親睦、その他の望ましい条件を振興、つまり親睦をしようこの二つを最初のロータリーの目的として掲げております。でそういうふうな初期の物理的相互扶助、つまり職業の職業上の中でのつながりという相互扶助から、まあ徐々にそれだけではなくて、もっと親睦を話し合う親睦の話し合いの中から、もう一つは？他人の不幸を思いやる奉仕の心が芽生えてくると言うな形になってきます。まあ、何かその自分たちの商売だけではなくて、何か世の中の為にできないだろうかということ、そこで真剣に考えた時に第3条としてシカゴ市の利益を推進し、その市民の中にシンジに対する誇りと中性の精神を普及する。それは対社会にたいする奉仕の概念を持つとういうことで聞いたことがあるかもしれないけど、公衆トイレをそこのロータリーで作ったとういうこととあります。まあ、ロータリーという意味は、四人のメンバーが事務所をそれぞれ変えながら、歯車のように回ろうとういうことで決めたので、ロータリーという名前にしたとういうこととあります。

日本のロータリーは1920年10月20日東京ロータ

リー24名で設立しました。そのロータリーはアメリカロータリー精神の助け合いの精神に目覚め、東京老体でも週一回の例会となり、今、全国にこのように広がっているとういうこととあります。

で、私は先ほどちょっと出ました職業奉仕についてちょっと話させていただきたいと思います。職業奉仕というのは、決して私たちが職業するのが職業奉仕ごいけません。ここにもあるように、ロータリーに入会する人は、その職業奉仕の資質を身に付けているから、まあ職業上成功してるとい

うか、ロータリークラブとういうところに入会できるわけです。自分の仕事に通知して社会に奉仕することを自分の仕事を通じて社会にいたすること、それは奉仕の実践に先立ちこの例会において、会員同士が親睦を通じて切磋琢磨して奉仕の心を作る、奉仕の心を高め合うとういうのは、職業奉仕の考え方であって、ロータリーの例会の考えがあります。

例会において自己の精神的境地を高めていく。つまり、自分の職業に対する精神的境地を高める意識を高めること、そして私たちが何をやらなくちゃいけないのかと言いますと、この境地の中で自分の職場もしくは自分の職業を通じて世の中を明るくして行くとういうことが、私たちにと

つての職業奉仕であって、私たちが仕事をただやることが職業奉仕でないとういうことをぜひお考えいただきたいと思

います。ではロータリーとは何だろうとういうことになりますと。企業の繁栄っていうのは、経営者の人格の繁栄、経営者の人格がいい加減であれば、企業は必ずいなくなります。私たちはロータリーを高められた資質によってロータリアンとして高められた資質に、より企業を発展させる反映させることによ

中略

って、社会貢献であり、奉仕すること。それは私たちは、このロータリーっていうのは奉仕の心を育む人たちの集まりであるとういうこととありますよね。はロータリーの例会は人生の道場とっております。私たちはただここでご飯を食べて世間話してワイワイ話すって

いうことではないとういうこととあります。ロータリー奉仕いうのは、その交流の中でロータリアンすべてがその個人生活事業性が強い社会生活につねに奉仕の理念を適用すること。とういうのは、ロータリーの社会奉仕の交流であります。私たちロータリーの社会奉仕とういうのは何かと言いますとコミュニティサービスなんです？社会奉仕とういう言葉にしてしまうから、なんか社会に奉仕すればいいのかとういうようなニュアンスになりますけど、実はコミュニティーをサービスするコミュニティーをどういうふう

に私たちが維持して行くのかとういうことだとういうふうに思います。これは私たちが仕事においても何においても。たとえば趣味になること、相手の身に立って物事を考えていくこととういうのが、ロータリーの社会奉仕であります。

中略

皆さんでロータリーを考えながら、そしてロータリーを楽しんでできればいいなと思

います。本日はありがとうございました。

次週のプログラム予定

「年度末最終例会」

閉会宣言

点鐘 深井 弘美 会長

例会案内

(月曜日) 広尾RC:日高信金広尾支店 (水曜日) 帯広RC:ホテル日航ノースランド (木曜日) 足寄RC:足寄銀河ホール21
帯広南RC:北海道ホテル 上士幌RC:川村福祉会館 清水RC:清水町中央公民館
(火曜日) 芽室RC:めむろ一どセミナー 音更RC:ハピオ木野 帯広西RC:北海道ホテル
帯広東RC:ホテル日航ノースランド

出席報告/上野 浩二 出席委員長

Table with 6 columns: 会員数, 計算に用いる会員数, ホームクラブ出席数, メークアップ, 欠席, 出席率